

# 館山市の家計簿

令和3年度 当初予算版



# 目次

予算とは	・・・	( 3 )
館山市の予算（令和3年度）	・・・	( 4 )
一般会計歳入	・・・	( 6 )
一般会計歳出	・・・	( 9 )
市債（借金）と基金（貯金）	・・・	( 12 )
館山市の財政を家計に例えると	・・・	( 14 )
これからの財政運営のために	・・・	( 15 )
令和3年度の主な事業	・・・	( 17 )

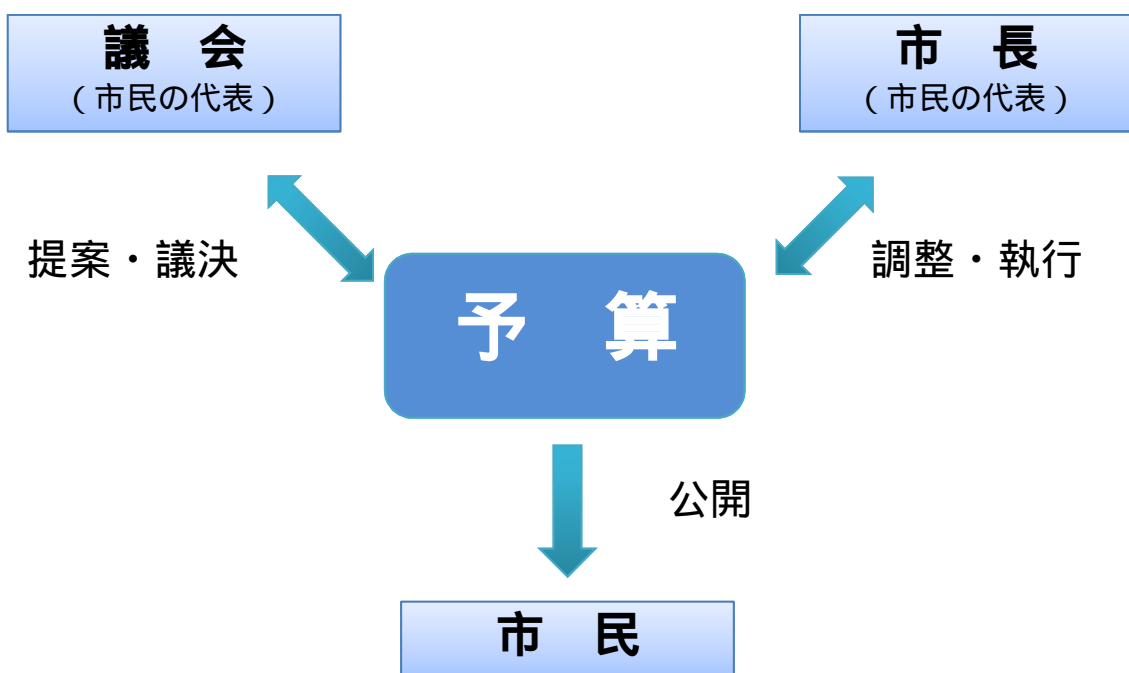
# 予算とは

館山市に1年間（4月～3月）に入ってくる収入の見積りと、その使い道を表すものが「予算」です。

市長は、予算案を作り市議会へ提出し、市議会の審議と議決により予算が成立します。

## 予算編成のスケジュール

9月末	市長から来年度予算編成にかかる方針「予算編成方針」を指示
10月	各所属で来年度の事業計画を検討し、予算要望を提出
12月～1月	市長による予算査定を実施 各課の予算要望を「予算案」としてまとめる
2月末	市長が予算案を市議会へ提出 議会での審議
3月	議決により予算が成立



# 館山市の予算（令和3年度）

## 会計の区分について

収入と支出の関係を明確にするため、「一般会計」「特別会計」「公営企業会計」の3つのグループに区分しています。

<b>一般会計</b>	<b>209 億 5,700 万円</b>	対前年度 + 10 億 5,900 万円 (+5.3%)
-------------	-----------------------	---------------------------------

教育、福祉、防災、道路整備、農水産業、商工観光など市の基本的な行政サービスを行う会計です。

<b>特別会計</b>	<b>129 億 1,600 万円</b>	対前年度 + 1 億 1,625 万円 (+0.9%)	
内 訳	国民健康保険	60 億 5,536 万円	対前年度 2,737 万円 (-0.4%)
	後期高齢者医療	8 億 3,653 万円	対前年度 + 2,808 万円 (+3.5%)
	介護保険	60 億 2,411 万円	対前年度 + 1 億 1,553 万円 (+2.0%)

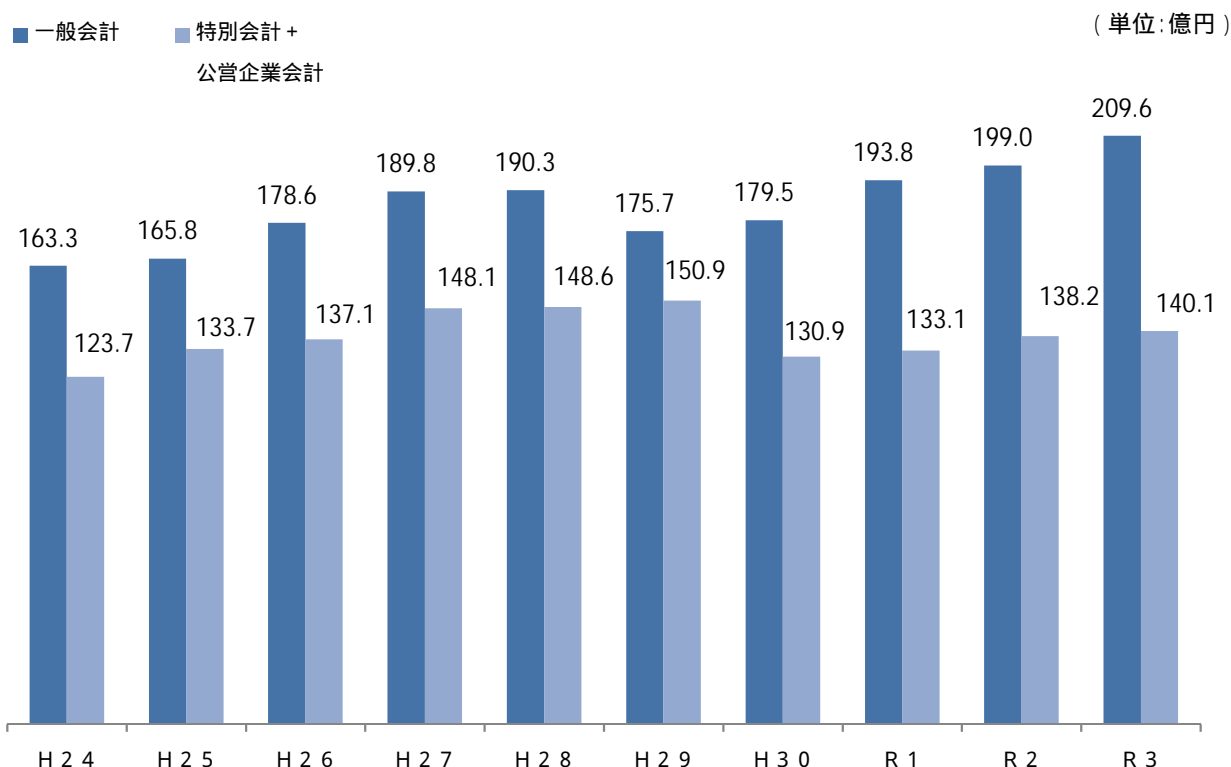
特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させた会計です。

<b>公営企業会計</b> 下水道事業会計	<b>10 億 9,697 万円</b>	対前年度 + 7,588 万円 (+7.4%)
--------------------------	----------------------	----------------------------

民間企業と同じように、事業で収益をあげて、運営している会計です。

<b>総計</b>	<b>349 億 6,997 万円</b>	対前年度 + 12 億 5,113 万円 (+3.7%)
-----------	-----------------------	---------------------------------

## 予算規模の推移と特徴



### 一般会計予算について

台風災害からの復旧を図る被災住家応急修理費や高齢化社会の進行等に伴う社会保障関連経費の増加に対応するため、予算規模は年々増加してきました。

令和3年度は、新型コロナウイルス関連費として、ワクチン接種費及び中小企業融資事業、また、館山中学校新校舎整備に伴う排水路整備や(新)館山警察署前道路新設事業なども加わって、初めて200億円を超過する過去最大の予算規模となっています。

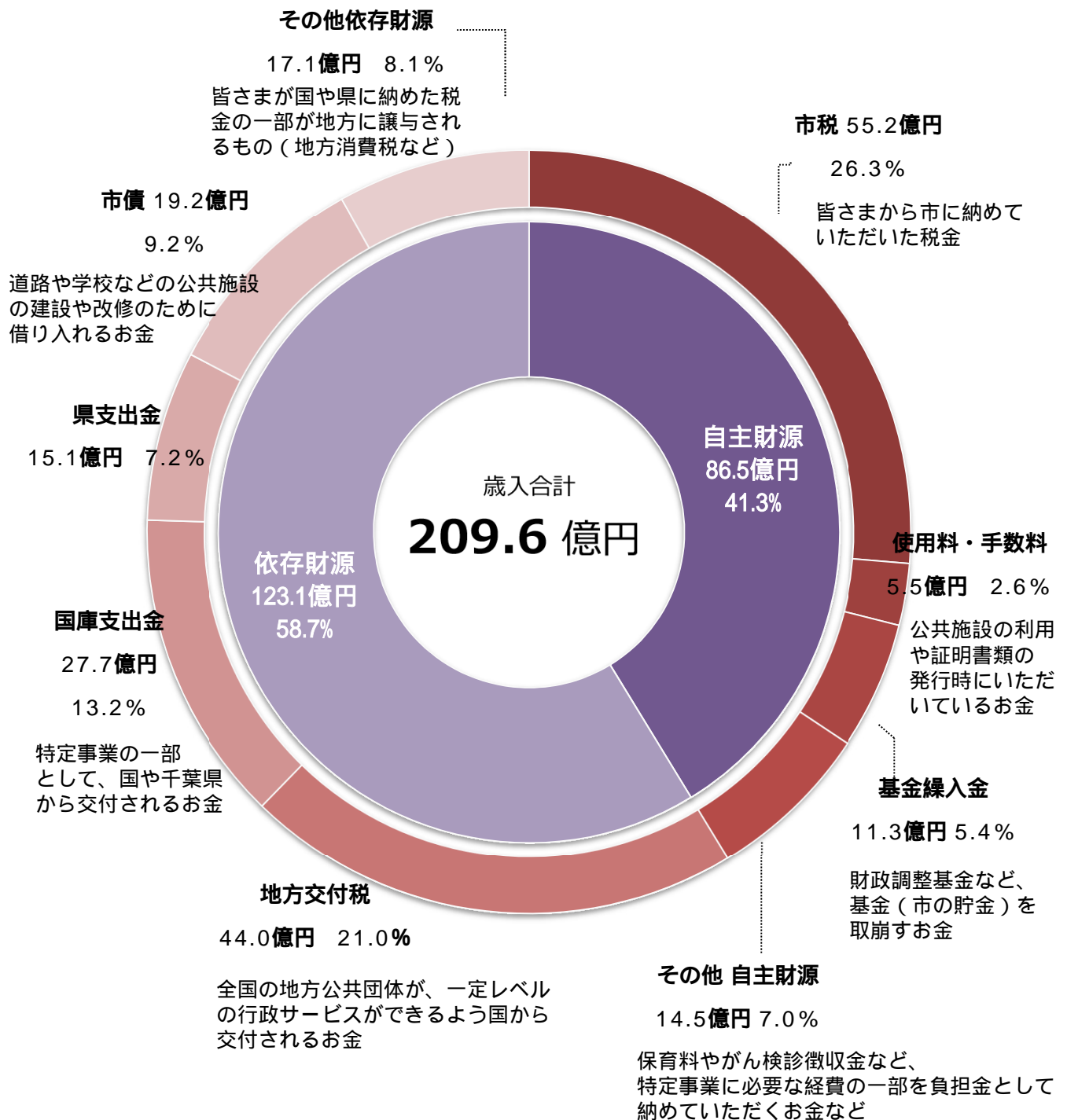
### 特別会計予算について

高齢化の進行などによる医療費や介護サービス費の増加により、平成29年度まで年々増加傾向にありました。

平成30年度には、国民健康保険の都道府県化に伴う制度改正により、国民健康保険特別会計の額が大幅に減少したものの、今後は再び増加していくものと見込まれます。

令和2年度から下水道事業は公営事業会計方式に変更され、独立した会計となりました。

# 一般会計歳入



## 自主財源と特定財源

**自主財源** ... 市が自主的に調達できる収入です。自治体財政運営の体力と言われ、その割合が大きいほど自立した財政運営が可能となります。

**依存財源** ... 国や県など、外的な要因に頼る収入です。館山市は、自主財源より依存財源の割合の方が高くなっています。

## 市税収入の内訳

個人市民税	19.1億円	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税
法人市民税	2.9億円	市内に事業所がある法人に納めていただく税
固定資産税	22.5億円	市内に土地・家屋及び償却資産を有している人に納めていただく税
市たばこ税	4.1億円	市内でたばこを買った方に納めていただく税
軽自動車税	1.7億円	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人から納めていただく税
都市計画税 【目的税】	4.7億円	都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・建物に対して課税
入湯税 【目的税】	0.2億円	鉱泉浴場における入浴に対し課税

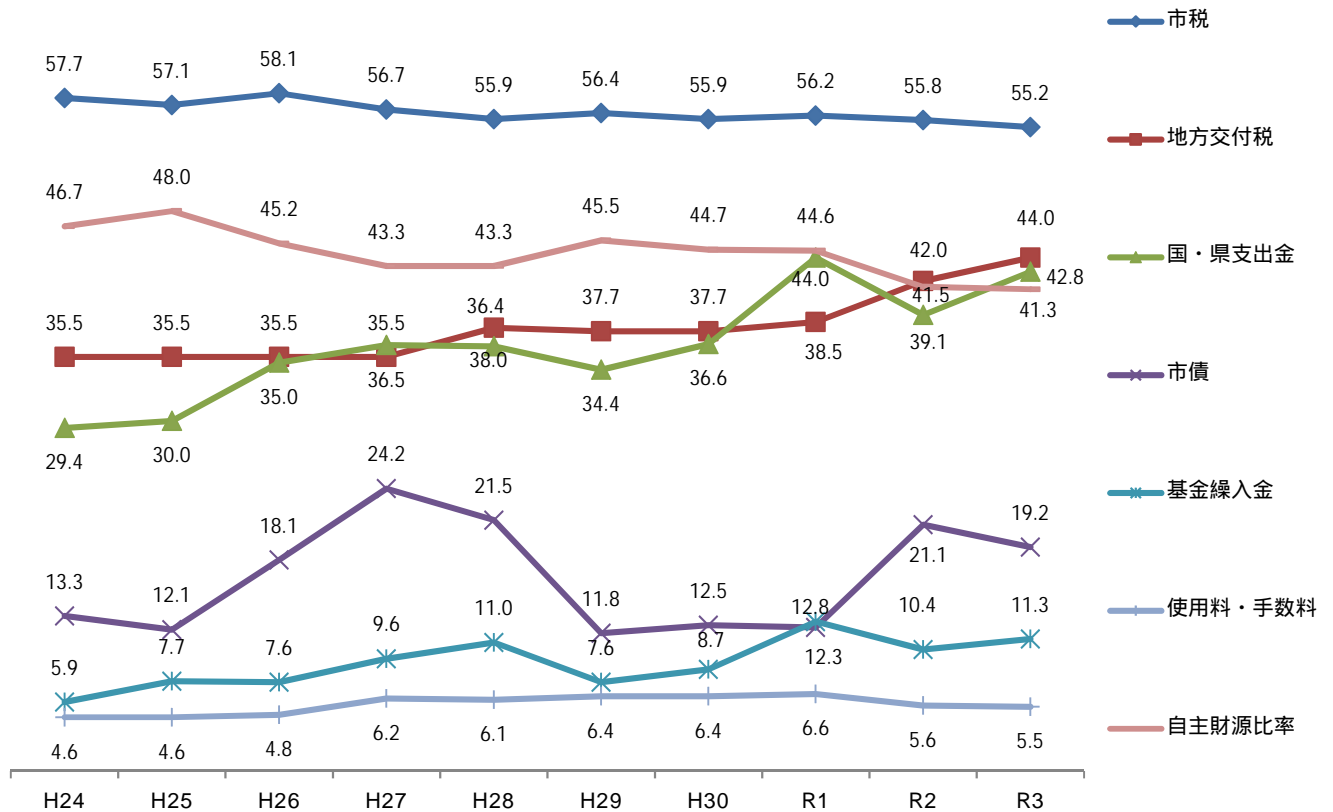
### 【目的税の使いみち】

都市計画税と入湯税は「目的税」と言われ、使いみちが定められています。

都市計画税	都市計画事業に要する費用に充当	船形館山線道路整備事業、公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業の市債返済など
入湯税	観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に充当	観光イベント事業や消防車両の購入費用など

# 歳入予算の推移

( 単位：億円 )  
自主財源比率は%



## 【ポイント】

### 市税収入の減少

高齢化に伴う生産人口の減少により、例年減少傾向となっています。  
また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う固定資産税・都市計画税の軽減措置等による減少も見込まれます。

### 地方交付税・国県支出金は、年度間で大きく変動

国の政策や国・県補助事業の実施状況により、年度間で変動します。

### 市債（借金）の増加

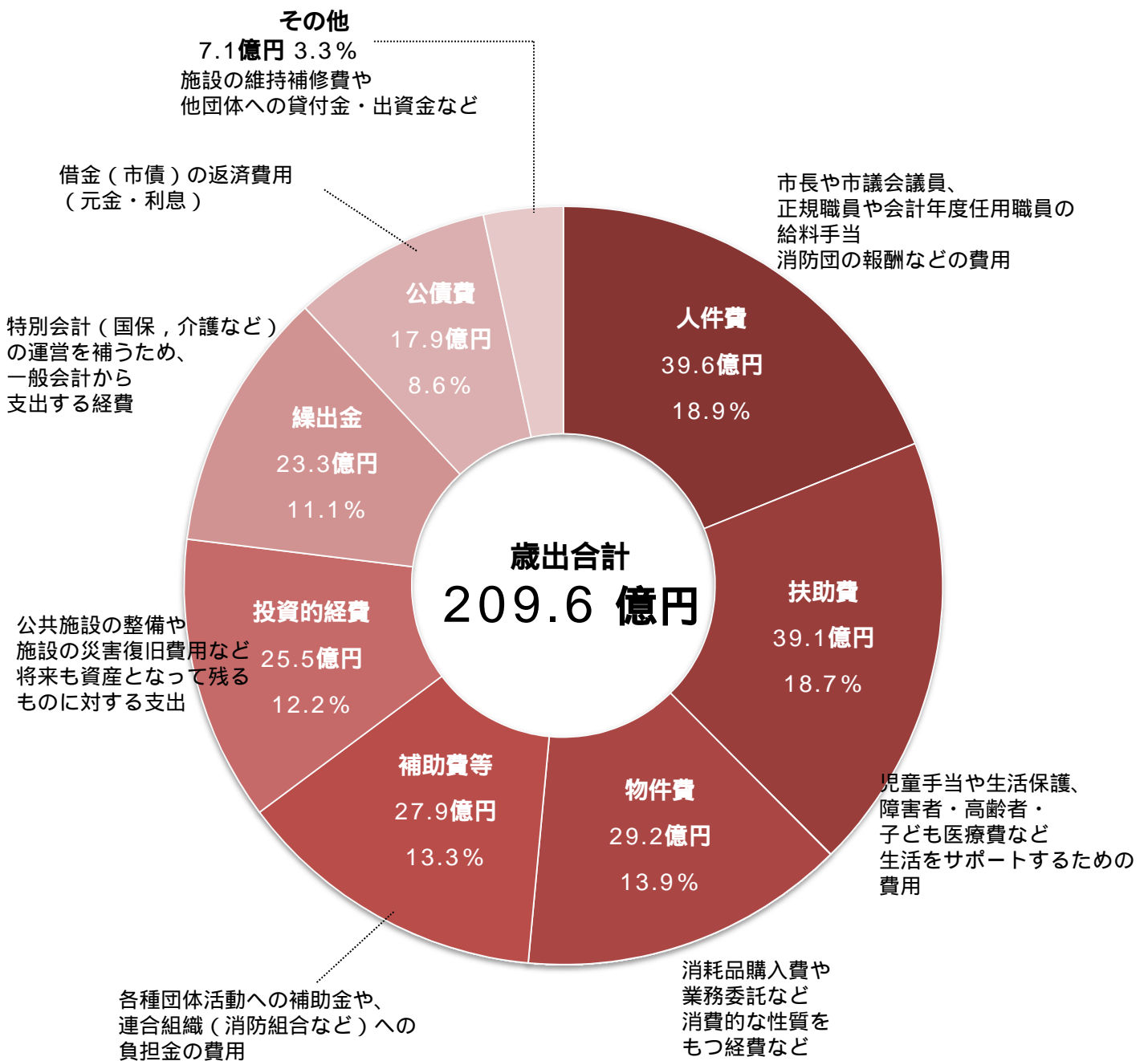
借金残高や返済額が急激に増加しないよう財政運営を行っていますが、令和元年度以降、台風災害による復旧事業や新学校給食センターの建設に伴い、市債（借金）が大幅に増加しています。  
また、令和3年度から清掃センターの改修事業、館山中学校の整備など、大規模事業の実施により今後更なる市債の増加が見込まれています。



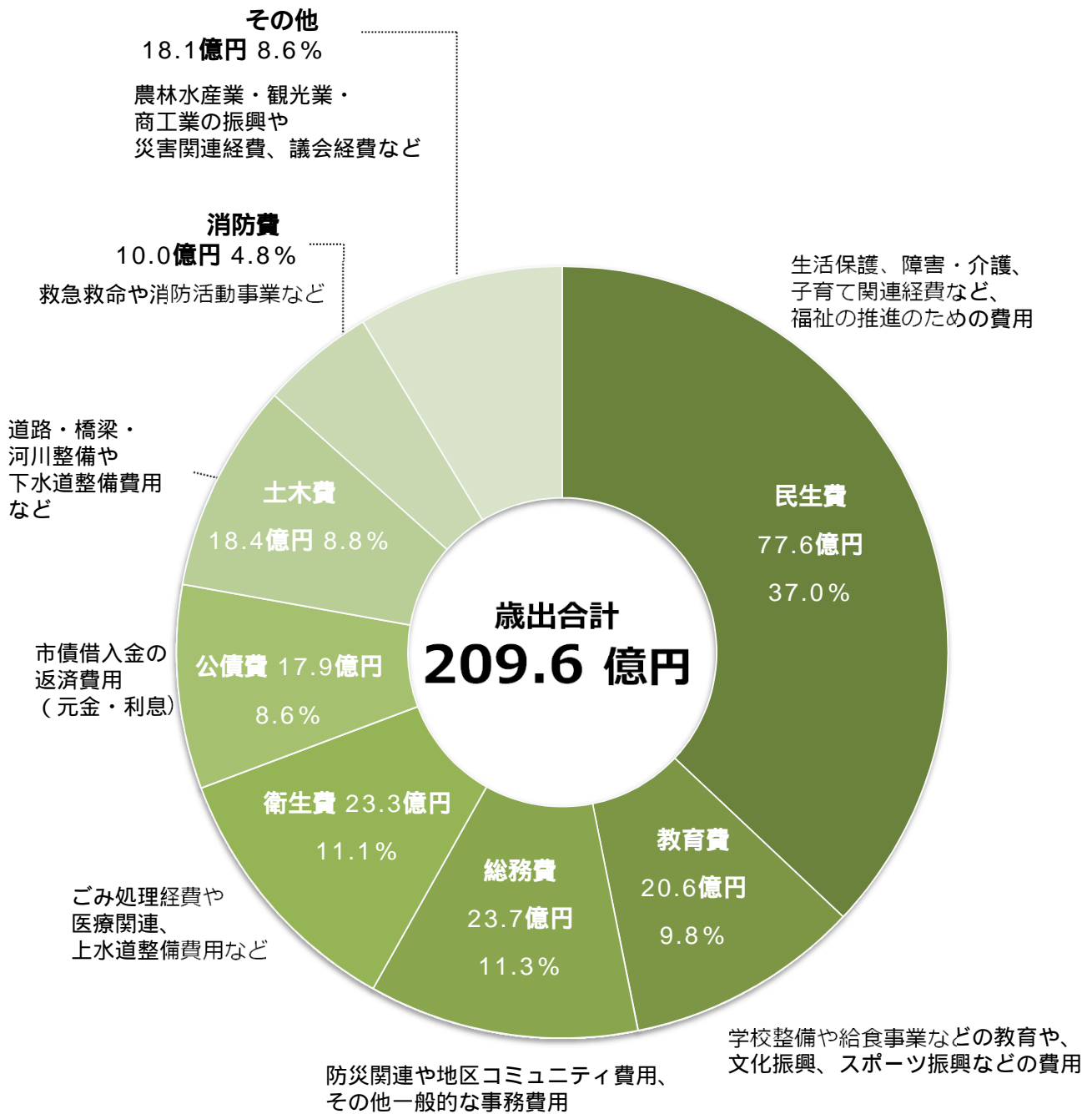
# 一般会計歳出

歳出は、  
 ・どのような性格の経費として使われているのか（性質別）  
 ・どのような分野の行政サービスに使われているのか（目的別）  
 2つの分類方法から見るができます。

## 【 性質別 】一般会計予算額

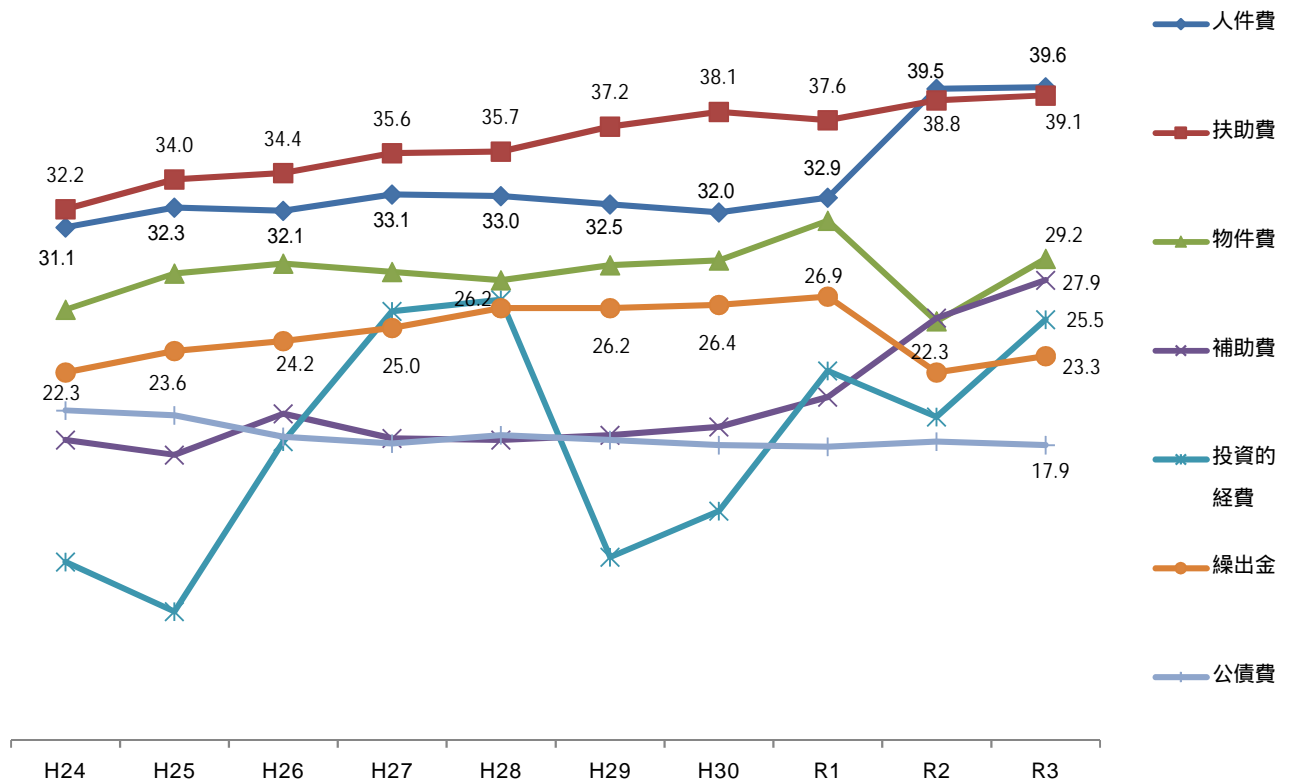


# 【 目的別 】 一般会計予算額



# 歳出予算の推移

( 単位：億円 )



## 【ポイント】

### 社会保障関連経費は右肩上がり

高齢化の進行により、扶助費などの社会保障関連経費は、右肩上がり増加しています。

### 物件費、補助費の増加

新型コロナウイルス対策によるワクチン接種委託費や中小企業融資事業、新学校給食センター運営費などにより増加しています。

### 投資的経費は年度間で変動

投資的経費は、大規模な公共事業の実施状況により、年度間で増減が生じます。

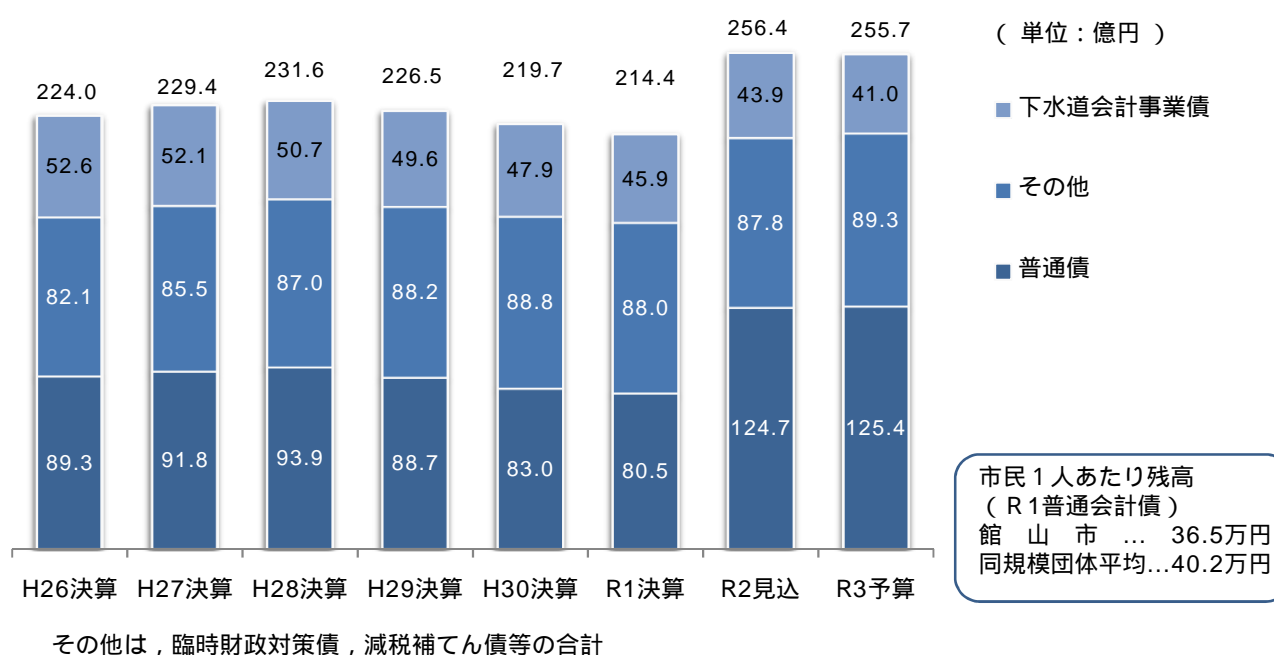
平成28年度までの公共施設耐震化事業が完了したことにより、一時的に減少しましたが、令和3年度は、館山中学校校舎建設に伴う、旧第三中学校校舎の解体、清掃センターの設備改良工事の実施などにより再び増加となっています。

# 市債（借金）と基金（貯金）

## 市債の役割

単年度の財源確保	大規模な建設事業を実施した年でも、その財源（収入）を確保することで、他の行政サービスを滞りなく実施することができる
世代間負担の公平性	公共施設の整備は、将来使用する（便益を受ける）住民にも、その返済費用を負担してもらうことで、世代間の公平性が確保される

## 市債残高の推移



借金残高や返済額が急激に増加しないよう財政運営を行っていますが、令和元年度以降、台風災害による復旧事業や新学校給食センターの建設に伴い、市債（借金）が大幅に増加しています。

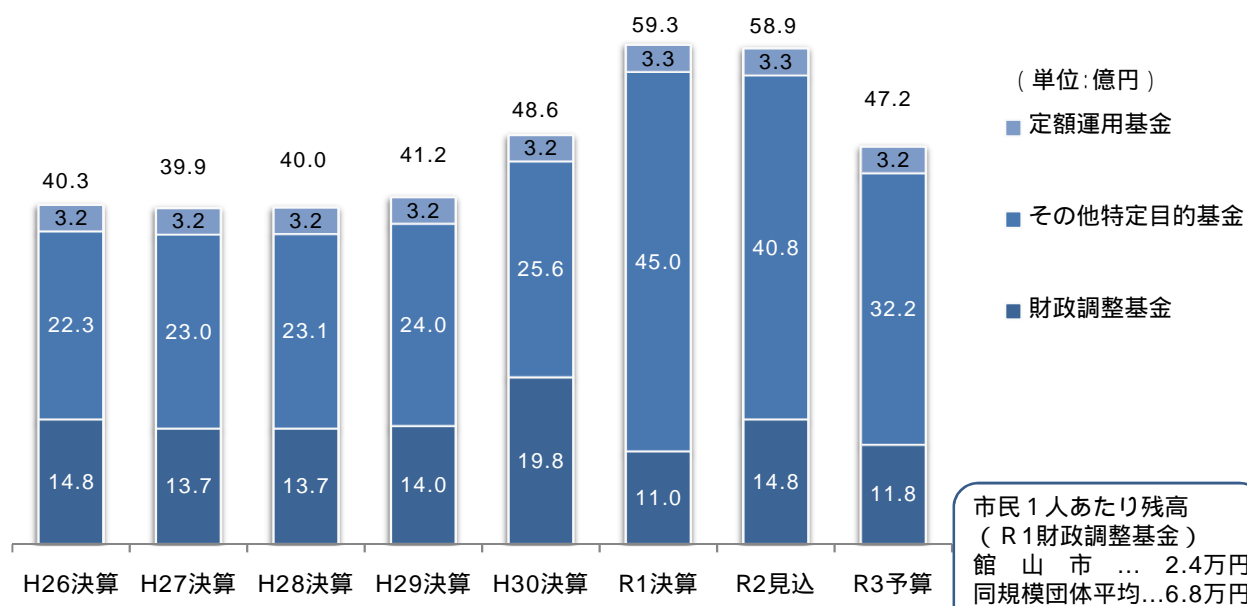
令和3年度から、清掃センターの改修事業、館山中学校の整備など、大規模事業の実施により、今後更なる市債の増加が見込まれています。

市民1人あたりの借金残高は、県内同規模団体平均よりもやや少ない状況となっています。

## 基金の種類と役割

財政調整基金	年度間の財政の不均衡を調整し、安定した財政運営を行うための基金 急激な税収減少や災害時などの不足の事態に備えるもので、「自治体財政運営のかなめ」と言える
その他特定目的基金	特定の用途を定めて積立てる基金 (庁舎建設基金、観光振興基金、環境保全基金、子ども・子育て支援基金など)
定額運用基金	定額を積立て、資金を運用する基金 (土地開発基金、看護師等修学資金貸付基金など)

## 基金残高の推移



平成25年以降、歳出予算の拡大に対応するため、財政調整基金を取崩しながら財政運営を行ってきました。

令和3年度は旧第三中学校及び旧学校給食センターの解体費などへの「庁舎等建設基金」の活用、中小企業融資事業や食のまちづくり拠点施設整備等への「前澤友作館山応援基金」の活用など、その他特定目的基金について約8.8億円の取崩しがあります。

市民1人あたりの貯金残高は、県内同規模団体平均よりも少ない状況です。

# 館山市の財政を家計に例えると

## 館山市の家計簿

一般会計決算を、家庭の総収入300万円（1か月25万円）の家計に例えて説明します。

収 入（1ヶ月）	
給与（市税収入）	6.6万円
手当（使用料など）	4.3万円
貯金取崩し（基金繰入金）	1.4万円
親からの援助 （地方交付税・国県支出金）	10.4万円
銀行からの借入（市債）	2.3万円
合計	25.0万円

支 出（1ヶ月）	
食費（人件費）	4.7万円
医療費（扶助費）	4.7万円
ローン返済（公債費）	2.2万円
水道光熱費（物件費）	3.5万円
交際費（補助費）	3.3万円
リフォーム（投資的経費）	3.1万円
こどもへの仕送り（繰出金）	2.8万円
貯金（基金繰出金）	0.2万円
貸付金など（貸付金，出資金）	0.5万円
合計	25.0万円

### 【現状】

「給与」や「手当」のほか、「親からの援助」に頼っている状況です。

### 【改善点】

「給与・手当」を増やし、「親からの援助」の割合を減らすことが重要です。また、「銀行からの借入」は、上限額を決めて計画的に行う必要があります。

### 【現状】

「食費」や「医療費」などの固定費が大きな割合を占めており、自分の裁量で使用できるお金はそれほど多くありません。

### 【改善点】

日々の節約を基本に、大きな買い物は計画的に行ったり、建物を適正規模にして、水道光熱費やリフォーム代を抑えるなど、中長期的な視点からライフスタイルを見直し、上手にやり繰りしていくことが重要です。

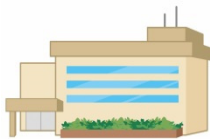
また、万が一の災害等に備えた準備も必要です。

# これからの財政運営のために

## 館山市に行財政改革が必要な理由

### 将来の心配事...

公共施設の老朽化



「ゆとり」のない  
財政運営



更なる少子高齢化による  
福祉・医療費の増加

人口の減少による  
税収などの伸び悩み

これから増加する費用や、  
新たな市民サービスの向上を図るためには...

市民協働

(行政が実施すること、  
市民・NPO団体などの  
役割の明確化)



行政サービスを  
受ける人の応分の負担



生活習慣病の予防、  
病気の早期発見・治療など  
健康寿命を延ばす施策による  
医療・介護費の削減

公共施設の統廃合・  
民間委託の推進



## 行財政改革の取組み

市では今後の中長期的な財政予測や、現状の課題点を踏まえ、平成30年4月に策定した「第三次館山市行財政改革方針」に基づき、行財政改革に資する具体的施策に取り組んでいます。

取組の種類	内 容
歳入の確保	市税収入等の確保 受益者負担の徹底 新たな財源確保 ふるさと納税制度の推進
歳出の削減	既存事業の見直し 補助金の見直し 一部事務組合負担金（補助費）の見直し 社会保障関連経費の抑制対策 組織体制（人件費）の見直し
公共施設の見直し	館山市公共施設等総合管理計画の推進（延床面積を20%以上削減） 実施計画にあたる「個別施設計画」を策定し、施設の統廃合などを促進
民間委託の推進	さまざまな事務事業の民間委託化 指定管理者、PPP / PFI制度の推進



# 令和3年度の主な事業

令和3年度の予算は、前年度に引き続き台風からの復旧・復興事業や今後も頻発化・激甚化が懸念される自然災害への対策費を優先させるとともに、新型コロナウイルス感染症対策費や、市民の利便性向上に繋がる行政サービスのデジタル化を進めるための費用などを計上したところです。

## 災害からの復旧・復興費

### 被災住家応急修理事業（建築施設課）

事業費	2億7,160万円	災害救助法に基づく被災住家の応急修理や、災害救助法の支援対象外住家に対する補助を行います。
財源		
国・県	2億4,842万円	
市債		
他	1,774万円	
市	544万円	

### 災害復旧事業（建設課）（スポーツ課）（観光みなと課）

事業費	6,534万円	被災した公共施設等の復旧工事を行い、市民生活の安全確保を図ります。 道路・河川等災害復旧工事 8カ所 社会体育施設災害復旧工事 2カ所 観光施設災害復旧工事 5カ所
財源		
国・県	645万円	
市債	4,310万円	
他		
市	1,579万円	

## 新型コロナウイルス対策経費

### 【新型コロナウイルス対策経費】 ～ 市の独自制度に関するもの ～

国の臨時的な補助金などを活用し、市民生活の安定確保や感染症防止対策を行います。

令和3年度当初予算分	事業費	7億1,907万円	<b>【主な内容】</b> 新型コロナウイルスワクチン接種事業（事業費：2億9,581万円） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、16歳以上の市民対象のワクチン接種に要する経費  中小企業融資事業（事業費：4億7,615万円） 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高が減少している市内中小企業者の資金繰りを支援します。 [対象者] 令和2年度に本事業の融資を受けた者  経済対策費（事業費：1億1,107万円） ・プレミアム商品券事業補助金（プレミアム率20%の商品券発行） ・キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金（キャッシュレス決済時に10%ポイント還元） ・飲食・宿泊事業者等支援事業補助金（クーポン率20%の飲食・宿泊等チケット事業への助成）外  妊産婦応援給付金（事業費：1,250万円） 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防のための生活負担等が増える妊産婦に対し給付金を支給します。 [対象者] 妊婦又は令和2年4月28日以降に出産した産婦で未受給の方 [給付額] 館山市商業協同組合共通商品券 5万円分  ごみ指定袋無料配布事業（事業費：596万円） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛要請等により「家庭ごみ」が増加しているため、ごみ指定袋を無料配布し家計の負担軽減を図ります。 [配付額] 各世帯主へ1,200円分のごみ指定袋を配付
国・県	2億4,292万円		
市債			
他	4億7,615万円		
市			
令和3年度追加補正分	事業費	3億984万円	
国・県	3億690万円		
市債			
他			
市	294万円		

## 災害・コロナ関連以外の主な事業

### [新規] 非常用発電機整備事業（管財契約課）

事業費 935万円

財源	国・県	
	市債	840万円
	他	
	市	95万円

停電時の備えとして、市役所本館に据置型発電機を整備します。

### 移住・定住促進事業（雇用商工課）

事業費 1,303万円

財源	国・県	475万円
	市債	
	他	
	市	828万円

都市部からの移住を検討している者に対し、相談業務など移住支援を行うとともに、「関係人口」の創出・拡大を図るため、関係人口の測定等を行います。

### [新規] 食のまちづくり拠点施設整備事業

（食のまちづくり推進課）

事業費 4,636万円

財源	国・県	
	市債	
	他	4,636万円
	市	

地域産業の振興のため、食のまちづくり拠点施設の整備を実施します。

（令和5年度開業予定）

### [新規] 有害鳥獣個体処理施設整備事業（農水産課）

事業費 343万円

財源	国・県	
	市債	
	他	250万円
	市	93万円

捕獲従事者の労力軽減と埋却処分による環境汚染対策のため、新たに捕獲個体処理施設の整備に向けた設計費を計上します。

（令和5年度開業予定）

### [新規] 雨水排水路整備事業（都市計画課）

事業費 1億4,833万円

財源	国・県	
	市債	1億3,020万円
	他	1,282万円
	市	531万円

周辺地域の浸水被害解消のため、排水路の整備・改修を実施します。

北条中央排水路  
楠見1号排水路

### 防災行政無線整備事業（危機管理課）

事業費 2,798万円

財源	国・県	
	市債	1,690万円
	他	
	市	1,108万円

災害時に情報連絡体制を確保するための防災行政無線更新費用等を計上します。

### 東京オリンピック・パラリンピック等

スポーツ観光推進事業（スポーツ課）

事業費 848万円

財源	国・県	
	市債	
	他	
	市	848万円

2020東京オリンピックに向け、オランダトライアスロンチームの合宿を受け入れ、スポーツ観光の推進に努めます。

### [新規] ジビエ加工処理施設整備運営事業

（食のまちづくり推進課）

事業費 1,252万円

財源	国・県	
	市債	
	他	1,200万円
	市	52万円

館山産ジビエのブランド化を目指すため、加工処理施設の整備及び運営を行います。

生活習慣病等予防対策事業（健康課）

事業費 4,538万円

財源	国・県	1,840万円
	市債	
	他	365万円
	市	2,333万円

生活習慣病の早期発見・治療のため、従来の40歳以上の特定健康診査に加え、新たに若年健康診査（35～39歳）を実施します。

[新規] 館山駅東口駐輪場整備事業（市民協働課）

[新規] 館山駅東口駅前広場改修事業（都市計画課）

事業費 1,413万円

財源	国・県	
	市債	480万円
	他	
	市	933万円

東口駅前広場全体の利便性及び安全性向上のため、改修計画策定及び駐輪場改修工事を行います。

清掃センター長寿化対策事業（環境センター）

事業費 1億2,300万円

財源	国・県	4,100万円
	市債	7,380万円
	他	820万円
	市	

清掃センターの延命化を図るため、長寿化総合計画に基づき基幹的設備改良工事を実施します。  
（令和3年度～令和5年度）

第三中学校解体費（建築施設課）

事業費 2億9,909万円

財源	国・県	
	市債	2億2,430万円
	他	7,479万円
	市	

館山中学校開校に伴って、第三中学校校舎等施設の解体工事を行います。

子ども医療費給付金事業（社会福祉課）

事業費 1億,1,230万円

財源	国・県	3,364万円
	市債	
	他	7,866万円
	市	

子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもの保険診療に係る費用を助成します。  
（令和3年度から所得制限撤廃）

南房総・館山地域公共交通活性化協議会負担金（企画課）

事業費 367万円

財源	国・県	
	市債	
	他	
	市	367万円

2市合同協議会により、既存バス路線の見直しや公共交通空白地域における移動手段の確保に向けて取組めます。

[新規] 包括的相談支援業務（社会福祉課）

事業費 533万円

財源	国・県	
	市債	
	他	533万円
	市	

地域共生社会の実現に向け、様々な課題を抱える人の相談・支援体制づくりを行います。

[新規] ICT支援員業務委託（教育総務課）

事業費 2,309万円

財源	国・県	
	市債	
	他	
	市	2,309万円

プログラミング教育やGIGAスクール構想に対応するためにICT支援員を配置します。

本書について、ご意見等ございましたら  
下記までお気軽にお寄せください。

館山市の家計簿  
令和3年度 当初予算版

令和3年3月作成  
館山市総務部行革財政課  
T E L      0470-22-3291  
F A X      0470-23-3115  
E -Mail    [gyouzai@city.tateyama.chiba.jp](mailto:gyouzai@city.tateyama.chiba.jp)